

新社屋の基本理念



日本赤十字社新潟県支部新社屋は、「いのちをまもる、未来につなぐ」というモットーのもと、4つの理念「備える」「伝える」「協働く」「育む」と、そのために必要な6つの機能を有しています。



アクセス

電車・JR越後線「白山駅」下車、徒歩約10分
バス・信濃町線「学校町三番町」または「新潟商業高校前」バス停下車、徒歩約5分
・浜浦町線「松波町一丁目」バス停下車、徒歩約5分

新社屋のご案内



日本赤十字社新潟県支部

備える

協働く

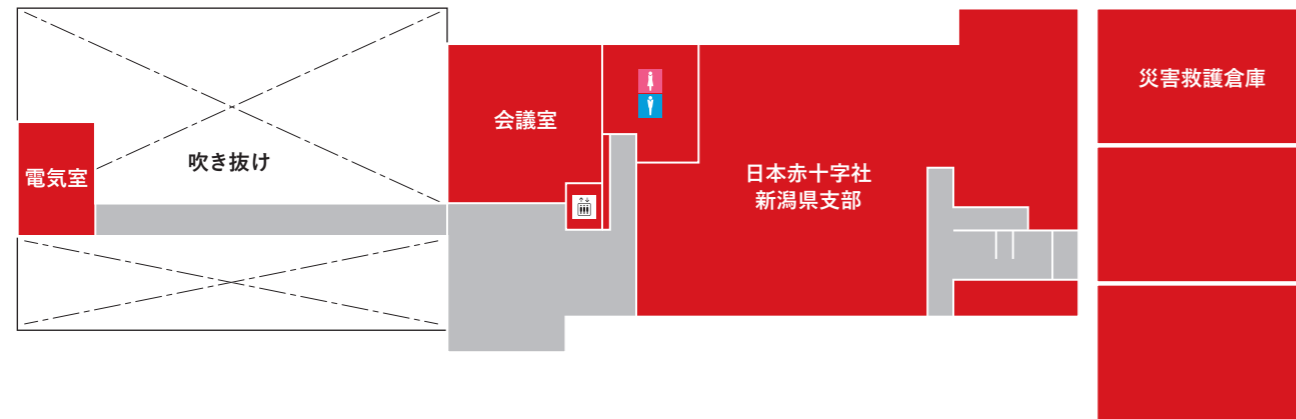
伝える

育む



災害救護活動やボランティア活動の拠点としての役割を果たします

+ 2階フロア



備える



- クロスホール・ラウンジ／災害時には、クロスホールとクロスラウンジを一体化させて災害対策室を設置します。
- 災害救護倉庫／倉庫には、災害時に被災者にお届けする救援物資や救護資機材を保管しています。

+ 1階フロア

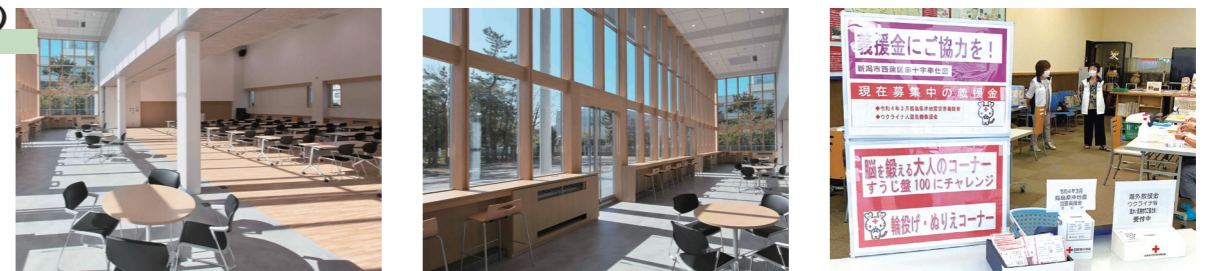


協働く



- ボランティアルーム1・2／ボランティアの活動拠点として災害時には赤十字防災ボランティアセンターを設置します。

伝える



- クロスラウンジ／赤十字紹介パネルなどの展示やイベントなどのスペースとして活用します。

日本赤十字社新潟県支部 + 新社屋の発災に備えた機能

耐震性 新社屋は1.5倍の強度のある地震に強い建物です	災害対策本部 新潟県支部事務室は災害時に災害対策本部になり災害対応を行います	津波避難 津波発生時の恐れがある時に屋上が周辺住民の一時避難場所になります	災害対策室 クロスホールは大規模災害時に大勢の災害対応チームが活動する災害対策室となります	安全天井 クロスホールは大地震に天井材が落下しても安全な軽い天井材を使っています
ボランティアルーム ボランティアルームは日赤活動を支援する日赤奉仕団の活動スペースです	資材庫 資材庫には各種講習会で使用する体験用講習資材を保管しています	災害救護倉庫 倉庫には災害時に被災者を支援する救援物資が保管されています	キッチン ボランティアルームのキッチンは災害時の炊きだし体験や実際の炊きだしに活用します	発電機 発電機は停電時に電気をつくり建物全体で利用できます
軽油タンク 燃料室には発電機を動かすための燃料を保管しています	井戸ポンプ 災害時に水道の代わりに井戸水を利用できるポンプを設置しています	トイレ トイレは災害時に井戸水で排泄物を流すことができます	シャワー シャワールームは断水時に井戸水でシャワーがつかえます	汚水槽 外部には災害時に排泄物がためられる汚水槽があります

育む



- 屋外(外構)／災害時には、屋外にテント(仮設救護所)を設置、平時は災害救護訓練や防災体験教室などを実施し、赤十字活動の未来を支える人材を育成します。